

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	視能訓練士学科3年制		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	教育学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期 月2	教室名	703
担 当 教 員	古茂田 貴子	実務経験とその関連資格	大阪城南女子短期大学で3年間非常勤講師として「教育原理」「幼児教育課程論」を教えた。四條畷学園短期大学で3年間非常勤講師として「教育課程論」を教えた。			
《授業科目における学習内容》						
<p>教育についての歴史・思想・文化・社会環境等の学びを基本とし、学習者の教育に対する視点や考えを再考し、深めます。また、世界の子どもの教育環境を紹介することで、日本の教育環境について考える機会を持ち、学びの場を持つことの大切さや教育の質の重要性などについての理解へとつなげます。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>学期末にテストを行います。また、講義内で視聴覚教材を用いた際は、その内容についての小レポートを講義内で書いてもらいます。評価の割合は、6:4を目安にしています。</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>講義内容に応じて適宜プリントや資料を配付します。</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>講義内容をしっかり理解し、自分なりの知識にしていくために、必ず前回の講義内容を復習しておいてください。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>「教育学」は社会に生きるすべての人に関わる学問です。積極的に取り組み、学びを深めて頂きたいと思います。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	教育学について概要を知る	資料		予習の必要なし
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	人間と他の動物との大きな違いを考え、人間の特徴を知る。	視聴覚教材		前回の講義のノートを見ておくこと。
		各コマにおける授業予定	人間と教育 I			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	人間の営みに教育が必要不可欠であることを理解する。	視聴覚教材		前回の講義のノートを見ておくこと。
		各コマにおける授業予定	人間と教育 II			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	反抗期や思春期の理由を考え、その時期にふさわしい教育について理解する。	視聴覚教材		前回の講義のノートを見ておくこと。
		各コマにおける授業予定	発達と教育			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	世界の様々な教育環境を知り、より良く生きていくためには教育がどれほど重要かということについて理解する。	視聴覚教材		前回の講義のノートを見ておくこと。
		各コマにおける授業予定	教育とは			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	古代ギリシャの特徴的な教育について学ぶ	視聴覚教材	前回の講義のノートを見ておくこと。
		各コマにおける授業予定	教育思想史 I		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	古代ローマの特徴的な教育について学ぶ	視聴覚教材	前回の講義のノートを見ておくこと。
		各コマにおける授業予定	教育思想史 II		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	ルターの宗教改革に伴う教育改革について学ぶ	視聴覚教材	前回の講義のノートを見ておくこと。
		各コマにおける授業予定	教育思想史 III		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	コメニウスの学校制度の考え方について学ぶ	視聴覚教材	前回の講義のノートを見ておくこと。
		各コマにおける授業予定	教育思想史 IV		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	ロックの教育思想について学ぶ	視聴覚教材	前回の講義のノートを見ておくこと。
		各コマにおける授業予定	教育思想史 V		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	ルソーの児童中心主義について学ぶ	視聴覚教材	前回の講義のノートを見ておくこと。
		各コマにおける授業予定	教育思想史 VI		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	フレーベルの幼児教育・デューイの小学校教育について学ぶ	視聴覚教材	前回の講義のノートを見ておくこと。
		各コマにおける授業予定	教育思想史 VII		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	学習指導要領の変遷を通して日本の教育の考え方を知る	視聴覚教材	前回の講義のノートを見ておくこと。
		各コマにおける授業予定	これからの日本の教育 I		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	PISAにおける日本の順位の変遷に基づく、日本のこれからの教育について考える	視聴覚教材	前回の講義のノートを見ておくこと。
		各コマにおける授業予定	これからの日本の教育 II		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	教育学の講義を通して学んだことについて確認する	資料	これまでの講義内容を復習できるように、ノート・資料をまとめておくこと。
		各コマにおける授業予定	総復習		